

## ベネズエラ問題検討用年表

新藤通弘作成

18.10.09 IMF、ベネズエラ 2019 年、1,000 万%のハイパーインフレの見込みと発表。Reuters

18.11.01 ボルトン大統領安全保障補佐官、米国との取引禁止キューバ企業リストを拡大すると。「キューバ、ベネズエラ、ニカラグアを「専制のトロイカ」と呼ぶ。米国の要望が満たされるまで、外交関係を断絶する。この専制のトロイカは、無限の人道的被害の原因であり、巨大な地域の不安定の動力であり、西半球における共産主義の不潔な揺り籠である。トランプ政権のもとで、地域の法の支配、自由、基本的な人道的品位を擁護するためにこの三カ国に直接行動を取りつつある。米国から、キューバの軍隊企業への送金を禁止する。ベネズエラの弾圧にはキューバの責任がある」。ボルトン、キューバ、ベネズエラへの制裁の一層の強化を述べる。

11 月 22 日

ベネズエラに外交圧力 米、テロ支援国家指定検討

18.11.26 15,000 人以上が帰還計画で本国に帰国。GV

18.11.27 北朝鮮序列 2 位の金永南最高人民会議常任委員長がベネズエラのカラカスでマドゥーロ大統領と会談。

18.12.01 ベネズエラ政府、本年第 6 回目の最低賃金の値上げ。127.27%。1,800 B から 4,500b+食費 B 450 total 4,950 に。

18.12.04 トルコ、ベネズエラに経済協力 対米けん制

18.12.05 チリ外相、ロベルト・アンプエロ、ベネズエラの状況を悲劇的と述べる。

18.12.07 ベネズエラ、ロシアから 5600 億円以上の支援

18.12.08 ペルー外相、ネストル・ポポリシオ、次回 12 月 19 日開催のリマ・グループ会議で、マドゥーロ政権との外交関係断絶を呼びかけると発表。

スペイン紙 ABC、証拠示さず、ベネズエラには 46,000 人のキューバ人拷問者がいると発表。

18.12.10 基礎行政区評議会選挙。投票率 27.4%、PSUV 議席の 91%獲得  
ベネズエラのマドゥーロ大統領、石油をペトロで販売と発表

18.12.12 ベネズエラ、米国のベネズエラ攻撃計画を暴露。セブロフスキイ Cebrowski 計画  
ジョン・ボルトン米国国家安全保障問題担当大統領補佐官が、軍事のおよびテロ的性質を帯  
びる一連の行動に向けた作戦を担い、指揮している。これら一連の行動には、ベネズエラの  
合憲的大統領の暗殺、合法的政府の打倒、及び暫定政府評議会の設置が含まれる。コロンビ  
ア政府及び同国のイバン・ドゥーケ大統領が直接的に関与、共謀している。このグループの  
目的は、ベネズエラ・コロンビア間の国境で偽った名目の事件を作り出すこと。同大統領補  
佐官の計画がベネズエラへの軍事的・暴力的作戦にブラジルを巻き込むものであると発表。

18.12.14 ロシア、ベネズエラ、軍事協力関係を強化。

18.12.17 マドゥーロ、コロンビアのドゥーケ政権、ボルトンの支援を得て、ベネズエラへの  
軍事侵略を計画している。

18.12.20 マドゥーロ大統領、外国から攻撃があるかもしれないので、団結するよう国民に呼  
びかける。

ロペス・オブラドール、ベネズエラとの外交断絶を否定。米務省、マドゥーロの 2 期目就  
任を認めないように各国に働きかける。そのために、リマ・グループ、昨年の大統領選挙の  
正当性を持ち出す。APR

19.01.01 右翼ジャイル・ボルソナーロ氏（63）が1日、首都ブラジリアの議会で宣誓し就  
任。大統領就任式では「我々の国旗が赤くなる（左傾化する）ことは二度とない」と述べた。  
ポンペオ、ネタニエフ、ピネイロ、エボ出席。オブラドール出席せず。

19.01.02 2日、ポンペオ米務長官、ボルソナーロ大統領（ブラジリア）と会談。ポンペオ  
米務長官は「ブラジルと米国は価値観を共有している」と話した。ポンペオ米務長官、キ  
ューバ、ニカラグ、ベネズエラを非難。ポンペオ、ペルー外務相 Néstor Popolizio と会談。  
ポンペオ、帰国時コロンビアに寄り、ドゥーケ大統領と会談、ベネズエラの外交面での孤立  
化政策で一致。この時、米国政府上層部、同盟国、国会議員、ベネズエラの野党と極秘に、  
グアंतゥー臨時大統領自己宣言計画を話し合う(WSJ 19.01.25)。

ベネズエラ政府、ポンペオ発言を非難。

19.01.03 ボルソナーロ、ブラジルに米軍基地を認めると発表。

19.01.04 カナダと中南米の 14 か国が参加する「リマ・グループ」が、外相会議を開催し、  
マドゥーロ政権非難の声明を発表。

19.01.05 5 国会議長に大衆意志党のファン・グアイドー氏、第一副議長サンブラーノ (AD)、  
第二副議長スターリン・ゴンサーレス（新時代党）選出。グアイドー氏は、軍部の支持があ  
るならばマドゥーロ氏に代わり暫定大統領に就任し、その後に自由選挙を実施する用意があ

ると表明

輪番制により、国会議長は、Juan Guaidó、大衆意志党幹部、第一副議長は、Edgar Zambrano、民主行動党 de Acción Democrática (AD)、第二副議長は、新時代党の Stalin González。2018年度はバルボサ国会議長（新時代党）

19.01.06 ベネズエラ政府、米国のクーデター計画を非難。

19.01.07 トルコ、ベネズエラ政府支持を表明。

19.01.08 ペルー、マドゥーロ及び政府閣僚の入国を禁止すると発表。

19.01.09 ウルグアイ外相、リマ・グループとは不一致を表明。

19.01.10 マドゥーロ、大統領2期目に就任。就任式でマドゥーロ、チャベス最高司令官の指示である21世紀の社会主義の建設を追求すると述べる。

ポンペオ国務長官、ボルトン、マドゥーロの大統領就任は非合法と述べる。

世界の124カ国（64%）から大統領就任式に出席。ラ米からは、ディアス＝カネル、エボ・モラーレス、ダニエル・オルテガ、サンチェス、セレンなどが出席。

19.01.11 OAS 常設理事会、マドゥーロ政権を非合法とする決議を賛成19カ国で可決。

日本外務省、マドゥーロ大統領を非合法との声明を発表。パラグアイ、ベネズエラとの外交関係断絶。

ベネズエラ外務省、OAS決議を非難。

ロシア、米国のベネズエラ干渉を批判。

ベネズエラ軍 FANB、マドゥーロ大統領への忠誠を表明。

19.01.12 パナマ外相、ベネズエラの憲法が違反されていると批判。

19.01.13 グアイドー、12名の警察により短時間拘束されるも、即座に釈放。野党の自作自演。12名の警官即座に更迭される。

アレアサ外相、パナマの外相に反論。

19.01.14 ポンペオ国務長官、ベネズエラの反政府勢力と軍部にマドゥーロ打倒のために立ち上がるよう、クーデターは民主主義の回復のため必要と述べる。

マドゥーロ大統領、制憲議会に Plan de la Patria 2019-2025 を提案。2018年の回顧報告を提出。最低賃金を 36.000 bolívares soberanos。値上げ幅は、300% 18.000 bolívares soberanos

コロンビア、ドゥーケ大統領、UNASUR に代わる新たな地域統合案 PROSUR を提唱。チリ、ピネイラ支持。

19.01.15 マルコ・ルビオ、グアイドーを大統領として承認するようトランプに要請。  
ペンス米副大統領、グアイドー議長と電話で会談し、「ベネズエラで唯一正当な民主主義機関」として同国の国会を支持する考えを表明。

従来の国会はこの日、米国や欧州連合（EU）、複数の南米諸国に対し、マドゥーロ政権の管理下にある当該国の銀行口座を凍結するよう要請する内容の法案を可決。

野党が多数派を占める国会は、2期目が始まったばかりのマドゥーロ大統領を「強奪者」とする宣言を出した。

アルマグロ事務総長、ベネズエラ国会で臨時大統領が指名されれば、それを承認すると発表。

19.01.16 アダン・チャベス、国会は、外国からの要因でクーデターが起きるのを待っている。  
しかし、ベネズエラ静寂で、大多数の国民は静かで、マドゥーロを支持していると述べる。  
ベネズエラ社会主義統一党 PSUV 1/23 に国民にマドゥーロ支持の進行を招集。

19.01.17 中国、マドゥーロ政権の支持、外国からの干渉に反対を表明。

ロシア、ラブロフ外相、マドゥーロ政権支持を再確認するとともに、米国の干渉を非難。

マルコ・ルビオ共和党上院議員、トランプ大統領に「グアイドーを臨時大統領に承認し、マドゥーロ政権の大使を追放し、グアイドーが任命する大使を承認するよう」要請。

マドゥーロ、コロンビアの首都ボゴタでのテロ行為の犠牲者への弔意とテロ行為についての非難声明を発表。ボルソナーロ、ベネズエラが ELN を保護していると非難。死者 21 名、負傷者 68 名。キューバ外務省も弔意と非難の声明を発表、テロ行為という言葉を使わず。

ドゥーケ、ELN との交渉を中止すると発表。

キューバから、新たに 500 名の医師到着。受け入れ式典開催。

19.01.18 中国外務省報道官、ベネズエラの経済回復政策を支持し、外国からの干渉反対を表明。

国会、グアイドー議長、国連議長に人道支援を要請。

マドゥーロ、トランプに、率直な対話を提案。またポンペオをベネズエラに招待。

グテーレス事務総長、双方が合意すれば、問題解決に協力する用意ありと。

OAS、Argentina, Brasil, Canadá, Chile, Colombia, Costa Rica, Perú y EEUU.8 カ国の養成で、1月24日、ベネズエラについての会議の開催を要請。

19.01.19 コロンビア政府、ELN との交渉を中断、テロ行為の実行者の逮捕を命じ、キューバ政府に引き渡しを要求。ブルーノ、キューバ政府は、政府=ELN の交渉合意の支持を維持し、関係者との意見を交換すると。米国国務省報道官、コロンビア政府の態度を支持すると表明。マドゥーロ大統領、トランプ大統領に対話を提起。

19.01.20 ベネズエラ政府、ELN は、ベネズエラに存在しないとコロンビア政府に通達。

コロンビア政府、ベネズエラ政府からの電話、書簡に全く返事せず。TS

エドガル・サンブラーノ国会第一副議長、国会はこれまでの誤りを繰り返してはならない、

グアイドーが臨時大統領になること反対を表明。UN

ELN 警察学校の爆破は、12月25日の政府軍の空爆に対する反撃であった、政府は、ハバナに交渉団を送るよう主張。

ベネズエラ国民、81%は、グアイドーを知らず。HL

19.01.21 グアイドー議長、ベネズエラ軍人にマドゥーロ政権を離脱したものは、無罪とする  
と発表。数時間後、午前2時50分、スクレ市のペタレ地区で軍の一部20名余(CNN)  
(40~50la tercera)が2台の軍用車を乗っ取り、武器庫から武器を強奪したが、国家警備隊  
の特殊部隊により鎮圧される。25名逮捕(GV)、27名逮捕(TS)。目的は、市民の中に不安  
をかきたてること。カラカス市内の十数か所で反マドゥーロ勢力が散発的に抗議。全体は、  
通常どおりの平穏。暴徒、ロバート・セラ文化会館を焼き討ちする。この行動、大衆意志党  
が直接関与していると述べる。武器は、23日のデモで政府攻撃に使用する目的。51の武器  
のうち40を回収。ペンス、反政府デモ派に発砲するように指示を出す。サンクリストバル・  
ククタ国境から国軍、警備隊の兵士の制服を着て、侵入する計画もあり。19.01.22 APRR ホ  
ルヘ・ロドリゲス 19.01.22 UN

19.01.22 ペンス副大統領、ビデオ・メッセージで、トランプ大統領、米国国民の名において、  
マドゥーロ大統領を独裁者と決めつけ、権力の正当性はない、ベネズエラで民主主義が回復  
するまでベネズエラ国民を支援する、ベネズエラ国民は街頭に出て、政府の移行の過程が始  
まるようにと述べる。マドゥーロ反論し、米ベ関係の全面的に再検討をすると述べる。  
夜、カラカス各地で反政府派、抗議活動を行う。

ベネズエラ国会、OASに独自の特別代表を指名、米国、アルマグロこれを歓迎。

ペンス副大統領、グアイドーに電話し、憲法の条項に基づきマドゥーロから政権を奪い、大  
統領を宣言するなら、支持すると約束。これは、数週間前から、米国政府上層部、同盟国、  
国会議員、ベネズエラの野党と極秘に進められた計画によるものであった(WSJ 19.01.25)  
グアイドー、ディオスダード・カベージョ、フレディ・ベルナルとカラカス市内で会い、米  
国アメリカとレオポルド・ロペスの圧力には耐えがたい、明日臨時大統領を宣言するつもり  
はないと述べる。TS19.01.25

19.01.23

グアイドー議長、反政府集会で憲法333条及び350条に基づき、暫定大統領と自己宣言  
pm3:00。トランプ大統領、直ちに声明を発表し、暫定大統領と承認。ポンペオ国務長官も憲  
法第233条に基づき(絶対的欠缺)承認し、自由で公正な選挙の実施を要請すると発表。カ  
プリーレスなど、野党の主要人びと、グアイドーがこの日、臨時大統領を宣言するとは知ら  
なかったと(19.01.31 NH AFP)。ポンペオ、マドゥーロ大統領に権力を放棄し、グアイド  
ーを承認するように主張。マドゥーロが暴力的に対応し、国会議員に害を与えるなら、米国  
はあらゆる手段に訴えると(EU)。

アルマルゴ OAS 事務総長も承認。パラグアイも承認。ブラジル、ペルー、チリ、コロンビ  
ア、コスタリカ、アルゼンチン、カナダ、エクアドルも承認。UE、マドゥーロに選挙実施

を要請。

その後ベネズエラ政府、米国との国交を断交を発表。Pm4:00

ダボスでブラジル：ボルソナーロ、ペルー：アラオス副大統領、コロンビア：ドゥーケ、コスタリカ：アルバラード、カナダ：フリーランド外相、エクアドル：モレーノ大統領会議をもち、グアイドー臨時大統領を承認。

キューバ、メキシコ(憲法で選出された大統領を承認する GV)、ロシア、ボリビア、トルコ、ウルグアイ、マドゥーロ大統領支持を再確認。スペイン、ポルトガル支持せず。

政府支持派、カラカスで数万人が参加。これを拒否。最高裁、ホセ・メンドーサ、グアイドー臨時大統領を認めず。

国軍、マドゥーロ大統領への忠誠を表明。

カプリーレス、ティントーリ、マリア・コリーナ、フリオ・ボルヘス、アントニオ・レデスマ、エンリ・ラモス・アジュプ María Corina Machado, Julio Borges, Antonio Ledezma y Henry Ramos Allup グアイドーの支持を表明。

19.01.24 ニカラグア、中国、マドゥーロ大統領支持を再確認。ALBA-TCP マドゥーロ支持を表明。インド共産党、フランス共産党、マドゥーロ支持。

米国、ベネズエラに 2,000 万ドルの人道支援を合法的なグアイドー政府を通じて供給する用意があると表明。RT

米政府、ベネズエラ駐在の大使館員を安全のために本国に召還するが、大使館は維持すると。米務省、ベネズエラ在住米国人に対し、ベネズエラから出国するよう真剣に考えるように警告。トランプ政権、マドゥーロ政権が、米国がグアイドー政権を承認したので米国との国交を断交したことから、米国大使館員の国外退去を拒否。

米国連代表部は 24 日、南米ベネズエラ情勢をめぐり、国連安保理の公開会合を 26 日に開催するよう要請したと発表した。ポンペオ国務長官が出席する方向。

CARICOM ビデオ会議開催、声明、15 ヶ国のうち、ハイチ、ガイアナ、バハマ署名せず。日本政府、菅義偉官房長官は 24 日の記者会見で、米国などが南米ベネズエラのグアイドー国会議長を「暫定大統領」として承認したことに関し、「一連の動向を注視している」と述べるにとどめ、日本政府としての態度を明示しなかった。

19.01.25 マドゥーロ、記者会見で解決は野党との対話と交渉であると述べる。

ロペス=オブラドール、双方が平和的解決を望むならメキシコを話し合いの場所を提供すると述べる。メキシコ、ウルグアイ共同声明で話し合いによる平和的解決を提案。

グアイドー、ボリーバル広場に姿を現し、「マドゥーロとの対話を拒否。軍部にマドゥーロから離反するよう、人道支援を受入れ、米国に米国大使館を維持するよう主張。来週に大行進、土曜日に各地で国民会議の開催、日曜日に軍施設に接近、政府幹部の住居に抗議することを呼びかける。メキシコ、ウルグアイの対話の主張に対し、その時期でない、唯一の解決は国際的圧力を強めること、トランプ大統領に支持に感謝している」と述べる。

金曜午後、マルコ・ルビオ米共和党上院議員、グアイドーと長時間電話話し、米国はグアイドー政権と民主主義が回復するまで緊密に協力すると述べる。

ポンペオ、好戦派のエリオット・エイブラムスをベネズエラ問題担当に任命。

**19.01.26** ベネズエラ、米国、双方の首都に利益代表部を置くことで合意。

グアイドー、条件も保証もない選挙に参加するつもりはない、マドゥーロが大統領を辞職すれば選挙に参加と声明。

PDVSA の労働者、マドゥーロ支持を表明。

イタリア、ベネズエラで外国から押し付けられた紛争が起きないように主張。

EU、マドゥーロ政権に選挙の日程を公表するよう要請。

スペイン、フランス、ドイツ、マドゥーロに 8 日以内に選挙を公表するよう、マドゥーロに最後通牒を突きつける。

ベネズエラ社会紛争オブザーバーOVCS、最近のマドゥーロ抗議で 29 日人が死亡と報告。

グアイドー、米国担当にカルロス・ベッキオを任命。

グアイドー、22 日カラカス市南東部に現れ、ディオスダド・カベージョ、フレディ・ベルナルと会ったことを否定していたが、会ったことを認める。EU

ワシントンの大使館付き武官、ホセ・ルイス・シルバ大佐、グアイドー臨時大統領を認めると宣言。

**19.01.27** ベネズエラ政府、27 日までに新たな選挙の実施を宣言しなければならないという EU の宣言を拒否。

米国、グアイドーの米国大使としてカルロス・ベッキオを承諾。EU、UN

米国、ベネズエラ国家との貿易は、グアイドー政府と行うと発表。EU

フランシスコ法王、ベネズエラの危機の解決に「公正で平和的」解決を要請。EU

世論調査によると、ベネズエラ国民の 84% は、与野党の対話が国の問題を解決すると考えている。GV

グアイドー、1 月 30 日と 2 月 2 日のデモを呼びかける。EU

**19.01.28** 米財務省、PDVSA に制裁を科す。GV

米財務省は 28 日、ベネズエラの「ベネズエラ国営石油会社」(PDVSA) を資産凍結や米国人との取引禁止などの制裁対象に指定したと発表。資産 70 億ドルに上る。

フランシスコ法王、フアン・グアイドーを承認することを回避 TS

ベネズエラ、カリブプロ野球協会が、ベネズエラでのカリブ・シリーズ取りやめに抗議。TS  
マドゥーロ、野党との対話を開始する用意があると強調、米財務省による PDVSA に対する経済制裁の拒否を表明。

アレアサ外相、不人気のいろいろな政府がベネズエラに自由選挙を要求するのはパラドックスだと述べる。UN

ベネズエラ政府、われわれの企業 CITGO を盗もうとしていると批判。GV

国連書記、ベネズエラで対話と交渉を進めるために使節団を派遣してもよいと提案。GV

ベネズエラ政府、ベネズエラの銀行業界と会合し、顧客へのサービスを保証。EU

グアイドー、外国にあるベネズエラの資産を漸進的、秩序ある形で取得すると声明。EU

カナダ、2月4日リマ・グループの緊急会議を受け入れると発表。EU  
ベネズエラでの抗議、1週間で35名の死者、850名の逮捕がでたと、犯罪フォーラム発表。  
EU  
グアイドー、メキシコ政府にベネズエラの民主主義の側に立つよう要請。ロペス＝オブラドール、米国の干渉を拒否。EU  
ボルトン、ベネズエラの軍事介入に関して、5,000名の部隊をコロンビアに派遣するというノートを記者会見で見せる。

19.01.29 ベネズエラ政府、米国がベネズエラの銀行の預金を接收することを拒否。UN  
マドゥーロ、5万人の民兵の創設を表明。UN  
人権擁護庁、最高裁判所にグアイドーに対し予防的な措置を要請。UN  
アレサ外相、PDVSAに対する制裁は、クーデターの制裁と規定。UN  
カベージョ議長、革命は、ベネズエラを裏切らないと述べる。TS  
ボルトン補佐官、米国の関心はベネズエラの資源にあるとのべる。TS  
最高裁判所、グアイドーの出国を調査が終わるまで禁止、資産を換金することを禁止、ベネズエラ国内の口座を凍結する。TS  
米国国務省、米国の銀行にあるベネズエラ政府の資産の管理をグアイドー任すと発表。CD  
ボルトン、ベネズエラで米石油企業が操業すれば全く違うものとなると、石油への関心を述べる。EU Fox Business

19.01.30 トランプ、グアイドーと電話会談を行い、民主主義を回復するための戦いへの支持を確認。EU  
マドゥーロ、「国会議員選挙を前倒しで行うのは良い考え。大統領選挙は実施したばかりで、2025年まで待たなければならない。トランプ大統領とはどこでも、どんなテーマでも会談してもよいが、ボルトンが会談を禁じていると聞いている。野党ともどのような形でも、どのようなテーマでも会う用意がある」と述べる。UN  
パドリーノ国防省、マドゥーロ大統領支持、民主主義、帝国主義の侵略反対を再確認。UN  
メキシコ・ウルグアイ政府、グテーレス国連事務総長の呼びかけに応じて、2月7日ウルグアイ、モンテビデオにて、ベネズエラの与野党双方を含むすべての国による、今後の解決の基礎を見出す国際会議の開催を提案。両国政府の立場は、不干渉、ベネズエラの人権状況についての懸念である。10か国以上の参加を期待と。  
アレサ外相、ボルトンはクーデターは石油のためと確認したと述べる。EU  
アルマグロ、ベネズエラで対話を擁護するのは、「馬鹿げている」と考えると述べる。EN  
ベネズエラ政府、外国人記者の違法の入国を警告。TS  
カベージョ議長、ボリーバル革命の20年を祝いボリーバル通りで集会を開くことを提案。  
TS  
首都カラカス、野党の呼びかけにもかかわらず、平静。TS  
カベージョ議長、野党の呼びかけにわずか9000人が参加したと述べる。EU  
カベージョ、次の選挙は、新しい議会を選ぶものになると述べる。EU



オブラドール、スペイン政府が仲介グループに入ることを拒否 GV

グアイドー、国軍中級幹部、国家警察幹部と秘密の会談を行い、マドゥーロ支持すれば無罪とすると述べたと、発表。NYT

19.01.31 グアイドーの家族が脅迫された報道はフェイクニュースと判明。TS、EU

EU議会、グアイドーを正当な指導者を認める。

ロペス＝オブラドール、ベネズエラについての対話の必要性をスペイン政府に再度表明。

マドゥーロ、公開で無条件の対話というメキシコ、ウルグアイの仲介を承諾。TS

米国は、メキシコ、ウルグアイ、バチカンの仲介を拒否 EU

スペイン政府、グアイドーを臨時大統領として承認。GV

ボルトン、グアイドーにより提供された無罪放免を利用するよう、マドゥーロに進める。

EU

米国、ヨーロッパ諸国にグアイドーを臨時大統領と承認するよう呼びかける。EU

ケベード PDVSA 総裁、反政府は、米国に石油産業の 50%を引き渡すと述べたことを明らかにする。UN

米国南方軍将軍マーク・スタンマーMark Stammer 近くコロンビアを訪問すると発表。UN

グアイドー、マドゥーロによる権限侵害を終わらせるために米国による軍事支援のオプションを否定しないと述べる。EN

マドゥーロ大統領、スリナム、モザンビーク、ベニン、ドミニカ国、ザンビア、ラオス大使に信任状を奉呈。TS

カプリーレス、グアイドーの自己宣言に野党の多数は反対していた。23 日に宣言を行うとは思っていなかったと。NH AFP

カラカス市内で、軍特殊部隊 FAES を装った武装グループ、逮捕される。

コロンビアから入国し、クーデターを起こそうとした Oswaldo Valentín García Palomo 退役大佐を逮捕。TS CO

19.02.01 グアイドー、メキシコとウルグアイの対話には参加しない、人権の侵害者を権力に留めるだけと述べる。GV

ペンス、ベネズエラで民主主義を回復するためには、あらゆる選択肢が机の上にあると述べる。EU

ペンス副大統領、今是对話の時期ではなく、マドゥーロ体制を終わらせる時だと述べる。マドゥーロは、キューバ支持によりもっているだけだ。キューバから解放しなければならない。

US WH HP

ボルトン、ベネズエラの人道支援を組織し、輸送すると。EU

国連安保理、マドゥーロ政権を承認。CD

19.02.02 革命 20 周年記念及びマドゥーロ支持デモ、数万人、カラカス市で行われる。野党も行うが、参加人数、与党 6 対野党 4 の程度。

カリコム、アルマグロ OAS 事務総長が OAS の名前で反マドゥーロ政府の立場を決定した

ことに異議を唱える。UN

ペレイラ駐日キューバ大使、歴史的に正しい立場を大使館ブログに掲載。

マドゥーロ、メキシコ、ウルグアイの対話の会議への支持を再確認

グアテマラ国連事務総長、人道支援は、マドゥーロ政権を通じて行うべきと主張。LJ

19.02.03 トランプ、軍事介入の可能性を繰り返し、マドゥーロとの対談を拒否。UN CBS

マドゥーロ、国軍に団結を呼びかける。UN, GV

制憲議会、国会選挙の前倒し実施を検討。UN

バスケス大統領とモグリーニ EU 外交・安全保障問題責任者、2月7日モンテビデオでベネズエラ問題についての連絡グループの会議を開催すると。出席は、EU と EU 加盟国フランス、ドイツ、イタリア、低地諸国ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、イギリス 8 カ国、ラ米 5 カ国ボリビア、コスタリカ、エクアドル、メキシコ、カリコム。憲法に基づく自由、透明、信頼できる選挙の実施について話し合うと。インテルラセ世論調査、31%がベネズエラ社会主義統一党を支持、1%大祖国連合 (GPP)、与党合計 32%、民主行動党 (AD), 3 %、正義第一党 2 %、大衆意志党 6 %、民主団結会議 (MUD)1 %、キリスト教社会党(Copei) 1 %、進歩的前進党 1 %、その他野党 1 %、野党合計 16% GV

北朝鮮、マドゥーロ政権支持を確認。

19.02.04 グアイドー、2月5日にヨーロッパの19カ国のグアイドー承認国の大使を任命すると。GV

グアイドー、25~30万人が餓死する可能性があると述べる。ドイツ 600 万ユーロ、カナダ 5000 万ドルの人道支援を約束。GV

リマ・グループ 11 カ国 Argentina, Brasil, Canadá, Chile, Colombia, Costa Rica, Guatemala, Honduras, Panamá, Paraguay y Perú、グアイドー承認を再確認。グアイドーがリマ・グループに加盟することを歓迎。民主主義の復活と自由選挙の実施を呼びかける。また、マドゥーロ政権の人権侵害を非難。国軍にグアイドーへの忠誠を呼びかける。GV

グアイドー、政府との対話に参加しないと GV

エルサルバドル、ナジブ・ブケレ大統領に当選。グアイドーを支持。

マドゥーロ、フランシスコ法王に対話の促進の協力を依頼。

アフリカ連合 (AU)、55 カ国、マドゥーロ政権支持を表明。

19.02.05 フランス、スペイン、ドイツの最後通牒期限切れ、グアイドーを承認。ヨーロッパ 21 カ国がグアイドーを承認、イギリス、オーストリア、エストニア、リトアニア、デンマーク、レトニア、フランス、スペイン、ドイツ、オランダ、フィンランド、ポルトガル、ルクセンブルグ、スウェーデン、ポーランド、チェコ、アイスランド、ハンガリー、クロアチア、ウクライナ、マケドニア

ヨーロッパ反対：イタリア、アイルランド、ギリシア、ロシア、ルーマニア、ブルガリア、キプロス、マルタ

米国、マドゥーロ政権が人道支援を妨害するなら、ブラジル、コロンビアに米軍を派遣すると述べる。EU

ポルトガル共産党、グアイドー承認したポルトガル政府を批判。CO

日本外務省、「グアイドー・ベネズエラ国会議長は、大統領選挙を行うための暫定大統領として宣誓を行いました。我が国は、憲法秩序に基づき民主主義の回復を希求するベネズエラ国民の意思を支持している」。グアイドー国会議長を日本としても承認する、支持するとまではいわず。

トランプ一般教書演説「2週間前、米国は正統なベネズエラ政府および新しい大統領、フアン・グアイドー氏を正式に承認した。ベネズエラの人々の高貴な自由の追求を支持する。マドゥーロ政権の残忍性を非難する。彼らの社会主義政策は、南米で最も裕福だった国を、みじめな貧困と絶望の国に転落させた。

ここ米国で、我々の国に社会主義を採用しようという新たな要求を警戒している。米国は、政府の強制でも支配でも統制でもなく、自由と独立の上に築かれた。我々は生まれながらに自由で、自由であり続ける。今夜、米国が決して社会主義国にならないという決意を再確認する」と述べ、マドゥーロ政権を認めない理由が社会主義推進にあることを述べる。

19.02.06 ウルグアイで開催のベネズエラ対話会議、メキシコ、ウルグアイ、4段階の方法を発表。

第一段階：条件なしの早急な双方の対話。その後の双方の対話の条件を作成。

第二段階：双方の交渉、対話の結果の発表、双方の共通点を見出せるような立場の柔軟化を進める。

第三段階：約束と合意の署名。

第四段階：国際的な支援を受けて、合意の導入と実行。

この提案を、メキシコ、ウルグアイ、カリコム、ボリビアが賛成

国連、人道支援を政治道具にしないようにと提案 LJ

スロバキア、グアイドー支持を取り下げる。

ポンペオ、人道支援物資のベネズエラ入国を受け入れるよう主張。GV

19.02.07 モンテビデオでベネズエラ問題をめぐり国際連絡調整グループ (IGC) 14カ国機関閣僚級会議開催。最終宣言で、民主主義、法治国家の復活、国会の尊重、基本的自由、人権の尊重、早期の自由、透明、信頼できる選挙の実施、継続的な人道支援の受入れ、そのための国連難民局及び国際移民機構より使節団の派遣、3月に閣僚級の会議の開催などを記載した最終宣言を採択。

賛成は、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、イギリス、コスタリカ、エクアドル、ウルグアイの11カ国、

反対は、ボリビア、メキシコ、カリコム。ボリビア、メキシコは、選挙の実施、人道支援受け入れの要請は内政干渉として反対。ウルグアイは、グアイドーを認めない態度は変えていないとGV。

アレアサ外相、17年8月からの米国の経済封鎖及び制裁で350億ドルの被害を受けた。EU

国会、この一年で 2.688.670% 1月 191.6%=年率 244,700% 一日 3.5%=年率 3,379,220 と発表。GV

人道支援物資、コロンビア国境のククタに到着。支援物資の箱には、USAID(米国開発庁)と印刷。

19.02.08 ポンペオ、ヒズボラのベネズエラでの存在は米国にとり、危険と述べる。EU  
マドゥーロ、ベネズエラでのヒズボラの存在を否定。TS

グアイトゥー、「米国の軍事介入は、論議をよぶことだが、米国の人道支援を受けるため、排除せず」と述べる。AFP

米ホワイトハウス高官の話として、「とても限られているものの、我々はマドゥーロ前政権のメンバーや軍高官と対話している」と。また、トランプ政権は今後、軍高官やマドゥーロ政権関係者に対する追加経済制裁の発動も検討していると。日経/ロイター

キンバリー・ブライヤー西半球担当国務次官、人道危機支援物資を武力を使っては届けないと。19.02.08 GV

19.02.09 バチカン、積極的中立の態度を維持すると表明。UN

ベネズエラ石油、バレル当たり 56.46 ドル

米政府、国連安保理に、ベネズエラの国会の安全保障理事会を全面的に支持する決議案を提出。決議の投票日を設定していない。ロシアも14カ国に内政干渉を批判するロシア案を提出、内政干渉を批判する。

19.02.10 コロンビア在住の国際赤十字委員会代表団長、クリストファ・ハーニッシ氏、「これは、人道支援ではない。赤十字の人道の条件を満たしていないので、参加しない、独立、一部に利益を与えない、中立という人道の条件により守られなければならない」と述べる。

UN

ビセンテ・ランヘル、ベネズエラのインフレの 75%は、並行ドルによって推進されたものと述べる。

1月21日～2月2日に行われたインテルラセ社による世論調査によると、マドゥーロが合法的 57%、グアイドー 32%、回答なし 11%。UN

ラテンアメリカ地政学戦略研究所 Centro Estratégico Latinoamericano de Geopolítica (Celag)、2013年から2017年までの米国の経済制裁の被害は、3,500億ドル、ベネズエラ人一人当たり 12,200 y 13,400 ドルに上ると発表。TS, GV

グアイドー、12日の青年の日に軍部に訴えるためのデモを行うことを発表。

「赤旗」中国外務省の華春型(か・しゅんえい)副報道局長は8日、ベネズエラ問題で、中南米と欧州14カ国・機関による「国際連絡調整グループ」閣僚級会議で7日に採択された「自由で透明かつ信頼性に足る大統領選挙」の早期実施を促す共同言を「支持する」談話を発表しました」と報道するも、華副局長は、「中国は、ベネズエラの問題は、ベネズエラ国民により、憲法と法律の枠組みの中で平和な対話と政治的手段を通じて解決されるべきものとする。これが唯一の同国において安定した平和に向かう道である。中国は、この目的に向

かう国際社会による努力を支持し、すべての側がベネズエラ問題の平和的解決において、引き続き建設的な役割を果たすことを希望する」(中国外務省HP)

19.02.11 キューバ外務省、米国のベネズエラ問題についての国連安保理決議案をベネズエラへの軍事侵略をおこなうためのものと批判。G

アレアサ外相、グテーレス事務総長と会談、平和的解決のため、協力要請。グテーレス、協力を約束。UN, GV

トランプ大統領のエイブラムス特使とベネズエラ外相が会談

アレアサ外相、日本がグアイドー氏を臨時大統領と認めないように要請すると。TV

朝日。

与党支持者による戦争反対、主権を守れ、平和希望署名、4日間で200万以上の署名集まる。

UN

ベネズエラ監査長官アモロソ・エルビス、グアイドーの資産、外国からの送金の審査を開始。

グアイドーの政治的資格はく奪を断定。UN

ベネズエラ社会主義統一党青年部、署名活動をすすめるため、12日に集会を呼びかける。

UN。

米南方軍司令官クレイグ・ファラーCraig Faller、ブラジルを訪問、ベネズエラ問題を討議。

GV

グアイドー、NGOから人道支援の第一便、85,000のサプリメント(1,700,000粒子ども用)、4,500サプリメント(妊婦用)分受け取ったと。写真付きで報道。GV. EN

19.02.12 アレアサ外相、非同盟諸国ビューロー特別会議で、バンドン原則、国連憲章に基づき平和的解決を支持するように要請。また、モンテビデオの交渉のメカニズムを支持し、ベネズエラ国民のためになる解決を支持するよう要請。CO UN

アレアサ外相、ヨーロッパ諸国が、グアイドーを承認したこと、遺憾に思うと同時に、イタリア政府が、米国の圧力に屈せず、双方の話し合いを強調していることを評価。UN

アレアサ外相、記者会見で、マドゥーロ政府は、モンテビデオの対話のメカニズムを支持し、対話への努力をあらゆる外交ルートで進める。米国政府が対話のメカニズムは時間稼ぎと評価しているが、それは違う、野党こそ、2016年と2018年、会話をを行ったが結局合意書に署名せず、合意を守らなかったと述べる。UN

反政府派、1月23日、2月2日続き、2月10日から訴えていた三度目のデモを全国各県の県都で実施。カラカスでは数千人集まるも、参加者数前回2月2日よりさらに減少。グアイドー、2月23日に人道支援受け入れの日としてデモを行うと。与党、2月11日から訴えていた青年の日の記念集会、署名活動実施、数千人参加。UN 与野党ほぼ同数。

レオポルド・ロペス夫人、リリアン・ティントリ、自由選挙があれば、夫のレオポルド・ロペスは立候補すると述べる。GV

ウォール・ストリート・ジャーナル、中国、グアイドーの特使と200億ドルの負債と石油開発について話しあったと報道。WST19.02.12

ベネズエラへの経済制裁の被害者は、下層の国民とNYT、BBCが非難。BBC、この制裁に

よりマドゥーロ政権が倒れるかどうかはわからないが、間違いなく国民生活への衝撃は増大する。NYT、マドゥーロ政権を退陣させるに至らないにしても、人々に大きな痛みをもたらすものと述べる。

ウルグアイ外相、「正式な選挙で選ばれていないグアイドーを臨時大統領と承認することは、無責任である、グアイドーは、全国をしいしているわけでも、行政権力を握っているのでもない、警察も軍隊も掌握していない。アルマグロの OAS での行動は、過剰な逸脱した行動である」と述べる。EU

19.02.13 中国外務省、華副局長、WST の 12 日のニュースはフェイク・ニュースであり、そうした事実はない。中国は、ベネズエラの問題は、与野党が対話で解決すべき問題と述べる。TS

トランプ大統領、ベネズエラ危機についてすべての選択肢を検討していると再確認。地域に米軍の派遣を決定してはいないが、計画はBからFまでであると述べる。EU

米国、ベネズエラからの石油輸入、2月の制裁後、5分の1、日量 117,000 バレルとなる。ベネズエラ、米国には、1月日量 587,000 バレル輸出。EU. El Comercio Peru

ベネズエラ国会、PDVSAの新経営者人を指名。EU

イギリス、ベネズエラへの 650 万ポンドの人道支援を決定。GV

イタリア外相 William Castillo イタリア議会がグアイドー支持をしたニュースを否定。GV  
米政府、ベネズエラ最高裁メンバーのビザを取り消す。GV

エルネスト・サンペル元コロンビア大統領、コロンビア政府のベネズエラ侵略政策に反対を表明。GV

米下院外交委員会、エンゲル委員長、マドゥーロ大統領の正当性はなく、グアイドー臨時大統領支持を各国に求めるとしつつ、ベネズエラに対する軍事干渉に反対する。エイブラムス・ベネズエラ問題特別担当は、軍事介入をしないと述べる。GV

フランシスコ・ローマ法王、マドゥーロ大統領の対話仲介に、7日回答したとイタリア紙コリエリ・デラ・セラが報道、法王は「双方が要請すれば仲介する、流血の惨事は避けなければならない」と述べ、グアイドーを支持もせず、書簡のあて先は、マドゥーロ氏とした。バチカン報道官は、掲載された内容について私的な書簡であり、コメントしないとした。LJ, AP

キューバ政府、「米国は、2月6日と9日、プエルトリコ、ドミニカ共和国他カリブ海諸国の米軍基地に緊急軍事輸送飛行を行ったと非難。G

19.02.14 マドゥーロ大統領、トランプ大統領のエイブラムス特使とベネズエラ外相が 2 度 (1月26日と2月11日)にわたり会談を行っていることを確認。エイブラムスをベネズエラに来るよう招待したと TS G AP

ベネズエラ最高裁、国会による PDVSA の役員任命は無効と判断。

最高裁憲法裁判所長官 Juan José Mendoza、国会により任命された PDVSA の新役員の出国禁止、資産の売買禁止、銀行口座の凍結を指示。GV

公共省、PDVSA 及び CITGO の違法な役員を調査すると発表。TS

インド（ベネズエラの第二の石油輸出先、ベネズエラで石油開発に投資）、米国の制裁に対し、現在のベネズエラ石油輸入日量 30 万バレルを倍増すると。TS ベネズエラ、米国には、1 月日量 587,000 バレル輸出。

トランプ政権はベネズエラのマドゥロ大統領への圧力を強める次の措置として、外国企業による国営ベネズエラ石油（PDVSA）との取引禁止を検討している。ブルームバーグ・ニュース。

米下院外交委員会のマッコール筆頭理事や政権から説明を受けた関係者 1 人によると、米政府は PDVSA の米子会社シトゴ・ペトロリアムの連邦破産法申請にも備えている。ブルームバーグ・ニュース。

キューバ及び中国から 1,000 トンの医薬品ベネズエラに到着。GV

キューバ、米国の人道作戦は、ベネズエラ侵略のためと糾弾。マドゥロ大統領への連隊はかわらないと確認。

米国、連邦裁判所、ラミレス前 PDVSA 総裁に汚職による被害 14 億ドルを請求。EU 世銀、IMF にならい、ベネズエラ支援を拒否。EU

ホワイトハウス提出の主権擁護・平和署名、ベネズエラ各地で進む。マドゥロ 1,000 万筆の署名を呼びかける。UN 19.02.15

ベネズエラのアレアサ外相は、軍事介入も示唆するアメリカの行動を念頭に国連憲章違反の行為によってベネズエラ市民の権利や安全が脅かされていると訴える。会見には中国やロシア、北朝鮮などアメリカに批判的な 14 カ国の国連大使らも同席し、今後、一部の国と共同で行動を起こすと主張した。TV 朝日

国連内で 16 カ国により、ベネズエラ支持グループ結成。中国、ロシア、北朝鮮、イラン、シリア、キューバ、ニカラグア、ボリビア、パレスチナ、スリナム、バルバドス、セント・ビンセント及びグレナディンなど。

19.02.15 マドゥロ大統領、国軍の動員計画を発表。

ロペス国防相、ベネズエラは、ひきつづき独立とじゆうの精神を維持すると述べる。GV EU とウルグアイ、国際連絡グループ GCI として来週、選挙と人道支援の専門家使節団をベネズエラに派遣すると発表。GV

マドゥロ大統領、メキシコ、ボリビア、ウルグアイ、カリコムが 2 月 7 日に呼びかけた反政府派との対話に参加する態度を再確認。UN

グアイドー、マイアミに人道支援物資集荷センターを開設すると発表。UN

OAS 事務局、ベネズエラの選挙制度を変更する選挙専門家グループの創設を発表。UN モンカダ・ベネズエラ OAS 大使、ベネズエラを OAS から追放するには 24 票必要だがそれを持っていないと非難。TS

コスタリカ、ベネズエラ外交官に Costa60 日以内の退去を指示。

モンゲリーニ EU 代表とポンペオ国務長官、ベネズエラの秩序を回復するために選挙の実施を擁護。GV

ドゥーケ・コロンビア大統領、グアイドーと電話にて民主主義の擁護で一致。インスタグラムで行い、ドゥーケは、グアイドーの愛国主義、勇気を称賛。EU

グアイドー、ベネズエラ軍に、憲法の側（グアイドーの側）に 8 日以内の立つようにと警告。  
グアイドー国会議長、2 月 23 日を全国で人道支援を受ける日と制定。EU  
ドゥルーケ・コロンビア大統領は、OAS で、反マドゥーロ包囲網を形成するよう、ベネズエラ軍に国会に忠誠を誓うように要請する。EU  
米国、軍用機を使ってベネズエラに人道支援物資を送ると。EU  
米財務省、ベネズエラ情報機関の高官らとベネズエラ国営石油会社 PDVSA のトップ計 5 人を制裁対象に加えたと発表。野党指導者のグアイドー国会議長の顧問チームは、マドゥーロ政権が融資の担保として預け入れている金を没収しないよう、シティバンクに要請した。  
ロイター  
ベネズエラの反政府側が会議開催 日本も支援姿勢示す。アメリカのボルトン大統領補佐官はツイッターに「ベネズエラの人道支援のために、今回の会議で 25 か国が 1 億ドルの拠出を約束した」と書き込む。NHK

19.02.16 ラブロフ・ロシア外相、ベネズエラ問題は、国際法に照らしてベネズエラ国民が対話で解決するように国際社会は、対話を推進するよう要請。UN RT

アレアサ外相、ベネズエラは、米国と深刻な見解の違いがあるが、対話を維持している。エイブラムスと 2 度会談したことを確認。UN

アレアサ外相、14 日に国連内で 14 カ国により結成されたグループ（中国、ロシア、北朝鮮、イラン、シリア、キューバ、ニカラグア、ボリビア、パレスチナ、スリナム、バルバドス、セント・ビンセント及びグレナディン）などは、主権と平和を擁護するために結成されたもので、このグループと協力して対話を実現したいと。UN

ベネズエラ最高裁憲法法廷、2 月 5 日国会により採択された「移行規約」は、国軍を解体し、別な性格の軍隊を創設しようとするもので、憲法第 2 章に違反するものと判決。UN

米軍機 C-17 3 機、コロンビアのククタに支援物資約 200 トンと輸送。マーク・グリーン USAID(米国開発庁)長官、コロンビア駐在大使、ジュリー・チャン米務省西半球担当副次官補も受け取りに出席。GV

ペンス副大統領、EU 諸国に対し、グアイドー国会議長を唯一の合法的な大統領として承認するよう要請。グアイドー議長を米国が最初に大統領として承認した後、現在まで 30 カ国の EU の同盟国を含め、52 カ国がグアイドー議長を大統領として承認していると述べる。

GV

グアイドー議長、2 月 23 日を支援物資受け取りの日として、必要なことはすべて行う。国境だけでなく、全国の都市でデモを行う。我々の行動は抑圧者が決める。現在 60 万人が SNS で受け取りボランティアとして登録されており、25 日月曜日に配布すると。コロンビア国境だけでなく、ブラジル、キュラソーからの受け取ると。GV EU

国連は、2015 年以降 230 万人が国外に脱出したと述べているが、マドゥーロ大統領は、約 60 万人が脱出と。EU

19.02.17 マドゥーロ大統領、ベネズエラの平和を保障するために、反政府派に民主主義に基づく、率直で公開の対話を再度提案し、モンテビデオの対話の仕組みを支持すると。TS



ラブロフ・ロシア外相、国連に、外国政府からの干渉を許さず対話を推進するように要請。また各国にマドゥーロ政権への最後通牒を突きつけないように主張した。TS  
アレアサ外相、一部の欧州議会議員が、グアイドーとの会談のために入国すると述べているが、攪乱行為の意図をもっているため、それは認められないと。TS  
欧州議会の6名の議員国会外交委員会の招聘状を見せ、ベネズエラのマイケティア空港で入国しようとするが、移民審査官に入国を拒否される。EU  
グアイドー議長、これに対して「マドゥーロ政権は、益々孤立して非合理的になっている」とツイートで述べる。EU  
ボルトン補佐官、ツイターで、「ケバド石油相は PDVESA の金を使い込み腐敗しており、米国の制裁の対象となっている。彼と取引するリスクを冒さないようにと石油会社、取引会社に警告する」。GV  
これに対し、アレアサ外相、ボルトンは、外交官としての言辞も使用しないギャングのような言葉遣いと非難。UN  
超右派のマルコ・ルビオフロリダ州選出のキューバ系共和党上院議員、OAS 米大使カルロス・トルヒージョ、キューバ系共和党下院議員のマリオ・ディアス・バラトと共にベネズエラ・コロンビア国境を視察し、ベネズエラ人移民にあなたたちの勇気に感謝している。必ずや自由と民主主義が回復される、世界中はあなたがたを支持していると述べる。GV

19.02.18 米軍、カリブ海で空母 2 隻、海兵隊 2,200 人を派遣し、ベネズエラ包囲体制を展開。CD

トランプ大統領、フロリダ州マイアミで演説し、「ベネズエラのマドゥーロ大統領について「キューバの操り人形だ」と述べ、退陣を求め、あらゆる選択肢があるとも主張、改めて軍事介入の可能性をちらつかせて牽制（けんせい）する。さらに社会主義を徹底的に批判、キューバとベネズエラは社会主義の独裁国家だ」と訴えた。社会主義の終わりが、西半球にも、世界のすべてのところに来た。ベネズエラだけでなく、ニカラグア、キューバもそうだと述べる。また国軍に向かい、マドゥーロ大統領をみかぎるか、すべてを失うかである。人道支援物資を入国させるようにと述べる。

米国、中国石油掘削会社、Sinovensa オリノコ河畔の油田地帯で 11 の油井で掘削を開始。河野外相、グアイドー議長を「明確に支持する」と言明、河野氏は自由で公正な大統領選の早期実施も求めた。しかし、グアイドー政権を承認するとは述べていない。

マドゥーロ大統領、ロシアから有償で人道支援物資 300 トンが合法的に到着したと。TS  
リマ・グループ、グアイドーの支持を再確認するため、25 日ボゴタで会議を開催すると。モンゲリーニ欧州委員会副委員長兼欧州連合外務・安全保障政策上級代表、ベネズエラに民主主義的・平和的移行のために、EU とウルグアイの専門家使節団を、派遣すると。GV  
ベネズエラ、リカルド・メネンデス計画庁副長官、この3年間で 280 億ドルの損失を被ったと。APR

19.02.19 ベネズエラ政府、22,23,24 日、コロンビアのククタ国境で住民に基礎生活物資 2 万ケース配給すると。UN 5,000 人の 10 日分 VA 19.02.22

政府、人道支援のキュラソー経由入国を防ぐため、キュラソーとの国境を閉鎖する。UN  
マドゥーロ大統領、マドゥーロ政権への脅迫は、却って国軍を強化していると。UN  
キューバ、ロドリゲス外相、緊急記者会見で、米国は、ベネズエラに軍事介入を行い、ラテン  
アメリカ・カリブ海を不安定化しようとしている。軍事進攻の準備は進んでいる。キュー  
バ国民は、ベネズエラ国民とともに、団結して備えると述べる。G  
サブ検事総長、自らの暴力行為を出てあげたボルトンを強行に批判。GV  
ベネズエラ国会、2月23日の人道支援物資の入国を承認。GV  
国際連絡グループ、2月21日にカラカスに使節団を派遣し、与野党双方と会談すると。GV  
米国政府、マドゥーロ政権の特使とカラカス在住の米国外交官身の安全について話し合った  
ことを確認。GV  
国会、EUとラ米への17カ国への代表を任命する。EU  
ブラジル、米国と協力して、人道支援物資の入国に協力する。EU  
マドゥーロ大統領、グアイドーに臨時大統領なら、先ず30日以内に選挙日程を公表しなけ  
ればならないと非難する。EU

#### 19.02.20

マドゥーロ大統領、クーデターのころみを打ち破り、コロンビア政府の戦争の挑発を打ち  
負かしたと述べる。TS  
マドゥーロ大統領、われわれから300億ドル奪い、2000万ドル食料で返すという。安物のシ  
ョーだと批判。GV  
ダリオ・ビバス、「ベネズエラから手を引け」コンサートを3日間、ティエンダス橋で行う  
と述べる。GV  
アンソアテギ州政府、人道支援搬入の戦略を練る。GV  
コスタリカ政府、グアイドー派外交官の在コスタリカ・ベネズエラ大使館乱入を受け入れら  
れないと遺憾を表明。GV  
クローズ・アルバ政府首相、ベネズエラ政府の国境封鎖の通告に対し、その措置に準備でき  
ていると述べる。GV  
マドゥーロ政権、アルバ、キュラソー、ボネール政府との関係の見直しを発表。  
デルシー・ロドリゲス副大統領、オランダ領アンアンティリヤスへの飛行便を中止すると発  
表 EU  
エール・フランス、23, 24, 25日のベネズエラ行き飛行便を停止。 EU  
パラグアイ大統領、コロンビアの国境に行くを確認。EU  
アムニスティ・インターナショナル、マドゥーロ政権に人道支援物資の搬入を受け入れるよ  
う要請。EU  
ブラジル政府、人道支援物資の搬入をグアイドー議長指名の外交官と話しあうと発表。EU  
ロシア、ベネズエラにおける体制変更には断固反対と。EU  
グアイドー、本年各種の選挙を6~9カ月中に行うと発表。EU  
国際人権委員会 CIDH 逮捕された4名の軍人に慎重な措置を15日以内にとるようベネズエ  
ラ政府に通告。 EU

クレイグ・ファラー米南方軍司令官、ベネズエラ軍に正しく行動するよう、23日には起きることは軍隊に責任があると呼びかける。EU

グアイドー、人道支援物資は、Puerto Cabello 及び La Guaira を通じても搬入すると述べる。

ベネズエラ政府、今年のカーニバルを2月28日から3日間を2日間延長することを決定。

UN

ケベード PDVSA 総裁、PDVSA 内で破壊活動があったが、制圧したと。UN

チャベス派、アンソアテギ県からボリーバル県まで、アングストゥーラ橋まで数万人がデモ行進。力による人道支援輸送阻止を訴える。CO

19.02.21 マドゥーロ大統領、ベネズエラの国連機関をつうじた20億ドルのEUの技術的人道支援を受諾。これは、20日にベネズエラを訪問した国際連絡グループGCIとの会議の後取られたもの。しかし、20億ドルは借款として、後ほど支払うと。また、国連に、医薬品と食料の購入のため技術的な人道支援リストを国連に要請。不可能なれば、ベネズエラは年刊40億ドル支払う用意がある。Sputnik

マドゥーロ大統領、住民が人道支援問題に巻き込まれないように保護するた、ブラジルとの国境の閉鎖を指示。VA

中国外務省報道官、ゲン・シュアン Geng Shuang、マドゥーロ政権がベネズエラの安定のために努力していることを評価。いかなる干渉、軍事介入にも反対、ベネズエラ政府による承認がない人道支援に反対と。

マドゥーロ大統領、ベネズエラの90%以上は、米国の軍事介入に反対していると述べる。

OC

19.02.22 キュラソー政府、ベネズエラ政府の許可なく、人道支援物資を強制的に輸送させないと。TS

午前、ブラジルとの国境で、国境封鎖に住民暴徒化し、パトロールカーを焼き討ちし、配備されたベネズエラ軍の兵士が自国民の抗議活動に発砲、2人が死亡した。マドゥーロ政権が海外からの支援物資を拒否するためブラジルとの国境を閉鎖し、軍を派遣した直後の出来事だった（日経GV他）。

カベージョ制憲議会議長、午後8時ベネズエラ・ブラジル国境のボリーバル県で国家警備隊が国境を封鎖すると、午後11時先住民の住民と衝突し、群衆を排除するため、警備隊催涙ガスとゴム弾を使用、1名の女性が家の中で流れ弾にあたり死亡、14名が負傷し、国家警備隊が発砲したとのフェイク・ニュース流れ、発砲した弾丸は、警備隊が使用するものではないと、ベネズエラ政府報道。またこの事件は、そこにいた大衆意志党のガルシア国会議員武装グループが関与している模様とカベージョ制憲議会議長述べる。VS TS

ベネズエラ外相、国連でベネズエラの平和と主権を尊重する諸国60カ国と会談、またグテーレス事務総長と3度目の会談を行い、国連を通じて有償で技術的人道支援を受け入れる用意があることを伝える。TS

ベネズエラ政府、人道支援の強制的搬入による混乱を避けるため、シモン・ボリーバル（ラ

ス・ティエンディータス)、サンタンデール、ウニオンの3つのコロンビア国境の橋を一時的に全面閉鎖すると発表。UN

アレアサ外相、野党との対話を行う用意があると。GV

アレアサ外相、コロンビアの国境、ククタ周辺に、准軍事組織、非正規グループ、密輸グループ、麻薬取引グループがおり、機会を狙って侵入するのを心配していると述べる。

イギリス人歌手 Richard Branson の支援コンサート、22日午前開始。

グアイドー議長、コロンビア領で開催中のベネズエラ野党支援コンサートに、ドゥーケ・コロンビア大統領、ピネーラ・チリ大統領、ベネテス・パラグアイ大統領とともに出席。GV  
ベネズエラ政府、ベネズエラ側の国境で平和コンサートを実施、また CLAP 物資の供給をククタの住民用に行う。

ボルソナーロ大統領、ベネズエラとの国境のロライナに人道支援物資 200 トン集積されており、23日にベネズエラに搬入すると。

ボルトン、ベネズエラに侵攻があれば、それは、ベネズエラ軍の責任と。韓国への訪問を取りやめ、ベネズエラ問題に専念すると。朝日

ザハロロバ・ロシア外務省報道官、米国は、特殊部隊を使って反政府派に武器を供与する作戦を進めている。東欧の NATO 加盟国から武器を調達して準備しており、3月の初めに供与する作戦。CO